

校訓

明るく なかよく たくましく

【本校の特色】

- ・県西部唯一のろう学校として聴覚障がい教育の専門性を有し、県西部の聞こえ、見え方に関する乳幼児教育相談や学校支援の拠点の役割を担う学校
- ・早期支援の必要性から幼稚部の設置がある学校
- ・小規模校であり、アットホームで個に応じた指導を受けることができ、就職や進学に対応できる学校
- ・地域との協働活動により人間力向上を目指す学校
- ・隣接の知的障がい特別支援学校と連携する学校

【本校の使命】

- ・聴覚障がいのある子どもの自立と社会参加の実現
- ・少人数指導を活かした学習保障及び進路保障
- ・小、中、高等学校における通級による指導
- ・小、中学校における難聴学級・弱視学級への支援
- ・聞こえ、見え方に関する乳幼児期からの早期支援
- ・隣接知的障がい特別支援学校とのセンター的機能
- ・聴覚障がい教育の、地域社会への理解啓発
- ・地域課題解決のための協働活動による地域貢献

【学校教育目標】

自ら考え 自ら判断し 自ら行動する
心豊かにたくましく社会で生きる自立した人間の育成

めざす学校像

- ① 子どもたちが自己の可能性を最大限に伸ばし、自己実現のできる学校
- ② 聴覚や視覚に障がいのある子どもたちへ障がいの状況や発達段階に応じた的確な指導や支援ができる学校
- ③ 高い専門性に基ついた教育の実践と、地域の特別支援教育に対する中心的役割を担う学校

本校教育の5本の柱

- ① 学力保障
- ② 言葉の力の伸長
- ③ 自己理解の深化
- ④ 社会性の育成
- ⑤ 健康安全教育の推進

目指す姿

教職員の姿勢

【乳幼児】

愛情と信頼関係に基づいた安定した親子関係を育むために

- ・親子での体験の中で、気持ちやことばのやりとりを大切に育みます。
- ・聴覚障がい乳幼児の育て方について保護者の思いに寄り添いながら、一緒に考えます。

【幼稚部】

なかよく たのしくあそび つたえあう子

- ・幼児の発達段階や興味・関心に応じた環境をつくり、自ら遊びに向かう力を育てます。
- ・季節を感じ、気づきや驚きのある体験活動を大切に、豊かな心とことばの力、コミュニケーションの基礎を育みます。

【小学部1～3年】

学ぶ楽しさを知り のびのびと活動する子

- ・言語力の基礎を育み、日本語の確かな習得と、基礎的基本的な学力の定着をめざします。
- ・身近な生活の中で、場面や相手に応じたやりとりを積み重ね、ことばの力や、気持ちや考えをのびのびと表現できる力を育てます。

【小学部4～6年】

生き生きと自分の力を発揮する子

- ・発達段階に応じた学習を積み重ね、進んで学習する態度を育て、自ら考える力を高めます。
- ・人のかかわりの中で、自分や友達のよさに気づき、自他共に大切にしようとする心を育みます。

【中学部】

学習習慣を身につけ 自らの良さを発揮する生徒

- ・生徒一人一人の力に合った教材を用いたり、カリキュラムを工夫したりして、基礎的な学力を身につけることができる授業を行います。
- ・各教科の授業や自立活動、行事や毎日の日誌の記入など、学校での様々な場面を通して、日本語力、手話力を高める活動を行います。

【高等部】

心豊かに たくましく生きていく生徒

- ・美術工芸科と被服科にそれぞれ3つのコースを設け、生徒一人一人の個性や興味、進路希望などに応じたカリキュラムで力を伸ばす授業を行います。
- ・就職希望者への現場実習や進学希望者への個別指導をはじめとする充実したキャリア教育を行い、生徒一人一人の進路の実現を図ります。



子どもたちの学びを支える取組

【言葉の力、学力を伸ばす授業づくり】

- ・伝える力、対話力に視点をあてた校内研究
- ・公開授業と授業研究会による授業改善
- ・非常勤講師・言語聴覚士による自立活動のアドバイス
- ・校内研修会、夏季研修会等での専門的な知識の学び

【地域とつながる学校づくり】

- ・まちづくりセンターや地元地区と連携した活動
- ・学校、家庭、地域でつくる浜ろうフェスティバル
- ・全国のろう学校との交流（ペンタゴンプロジェクト）

【おいしく楽しく元気になる学校給食】

- ・セレクト給食（食を選択する力をつけるために）
- ・「満点朝ご飯」「はは歯」「まごわやさしい」献立（食事を大切にすることをめざして）
- ・子どもが作るお弁当（食の自立をめざして）

【社会性を育む部活動】

- ・自己理解（自分の得意、苦手を知る）を通し、工夫していく態度を育てる。
- ・日々の練習や大会参加により社会性を養う
- ・他校生徒と日常的合同練習による様々な学び

【教育活動を支える学校事務経営】

- ・安全、安心でニーズに応える教育環境の整備
- ・円滑な事務処理
- ・スクールバスによる通学支援
- ・スクールカウンセラーによる支援

【専門性を活かしたセンター的機能の推進】

県西部のきこえ・見え方の教育相談・浜田市内対象の「はまだ特別支援教育相談室 STEP」（隣接知的障がい特別支援学校との合同相談室）
巡回相談・来校相談、アセスメント、研修会企画・協力、関係機関と連携した支援

連携

★乳幼児教育相談

- 「ひまわり教室」（きこえ） 「かもめ教室」（見え方）
- ・乳幼児期からの聴力評価・視力評価
- ・聴覚・ことばや視覚の活用を意識したかかわりあそび
- ・子育て（ことばやかかわり方など）に関する相談
- ・家庭訪問、幼稚園保育園訪問、施設訪問

小・中学校 高等学校 難聴児・弱視児支援

- ・難聴学級、弱視学級 交流活動（盲学校と連携）
- ・学級担任等へのサポート（聞こえ・見え方に配慮した授業づくり・学級経営等への支援・学習会）
- ・支援グッズの紹介、貸し出し、情報提供

【小・中学生対象 通級指導】 難聴・弱視

- ・自己理解（自分の聞こえ・見え方・得意不得意など）
- ・自分に合った学び方を模索（得意・苦手を知る、支援機器やICT機器の活用）
- ・家庭や児童生徒在籍校との連携

【高校生対象 通級指導】 難聴

- ・将来を見据えた自己理解（自分の聞こえ方を知る、自己をみつめる、自身の社会参加の在り方について考える）
- ・聴覚活用、補聴援助システムやICT機器の活用
- ・進路選択にむけての情報収集（合理的配慮の検討）